



# 「保育職場ハッピー大作戦！」チーム だより

福島市・保育士の働きやすい職場づくり事業通信 vol.4

令和4年3月25日 発行

こんにちは！福島市幼稚園・保育課『保育職場ハッピー大作戦！』チームです！

今年度最後を締めくくるチームだよりのテーマは「コミュニケーション」です。4月から新年度が始まりますね！新しい子ども達、保護者、そして職員との出会い。コミュニケーションを大切に、心を一つに頑張っていきたいですね！

## 今回のテーマ「コミュニケーション」



保育士さんたちの

悩み



困っていることがあっても  
話し合う時間がない…

世代間ギャップを感じる…

保育観に違いがある

自分の保育がこれで  
いいのか不安

### ～こんな取り組みをしている園がありました(いくつかの訪問施設より)～

- ☆主任を中心に職員が同じ方向を向いて保育を行えるように、保育や子どもの状態についてちょっとした時間でもよく話しているから「あ・うん」の呼吸がある。
- ☆クラスだけでなく、園全体で子ども達を見ている。職員会議・リーダー会議・パート会議を毎月開催し、子ども理解と情報共有の場に！
- ☆全職員対象に自身以外の良いところを書き出し、本人にプレゼントする事業を実施。職員の自己肯定感の向上に繋がっている。(保育のスキルアップにも！)
- ☆「これがまだ出来ていない」「手伝ってほしい」など、遠慮なく言い合える。頼まれる側も、そのクラスの担任の思いを大切に、確認しながら手伝っている。
- ☆職員同士で、「すみません」は言わず、「ありがとう」と言い合えるように意識している。
- ☆失敗しても、周りのみんなが「次頑張ればいい」とポジティブな言葉をかけてくれる。落ち込んで前に向かえる。
- ☆ベテランがすべて正解ではない。お互いの思いを言い合える環境が大事。(紙に書くと案外言いやすい！)
- ☆新人保育士は困っていることを困っていると言えない。気にかけるようにし、クラス運営などうまくいっていない時には指導保育士がアドバイスしている。
- ☆指導員が常に気にかけてくれ、「大丈夫？」「困っていることない？」と聞いてくれる。勤務の合間に話し合いの時間を設けてくれることもある。心強い存在！

### ・コミュニケーションをとる機会を意識的に設定する

・新人のサポート役「メンター(指導員)制度」を設け、就職したばかりで不安の多い新人を支えるなど、様々な工夫をしている施設がありました。施設全体で風通しの良い職場を作っていくことが、『コミュニケーションUP=働きやすさUP=より良い保育』に繋がっていくのでしょうか。



### ☆今年度の訪問施設☆

余目保育所 福島ゆかり保育園 森のほいくえん野の子 Ribbon保育園かまた ほくしん保育園  
ベビーホームゆりかご ちゅうりっぷ保育園 さくらんぼ保育園 いいの認定こども園  
福島郷野目こども園 てぞーろ保育園 (訪問順)

～ご協力ありがとうございました！～